

## インターバンクの声（2015年9月9日）

いよいよ来週 16-17 日に迫った FOMC、現状での利上げ開始見通しは 30% 程度。先週末の雇用統計を受けて労働市場の拡大基調が継続していることを確認した一方、昨夜 FRB が発表した 8 月の労働市場情勢指数は 2.1 と 1 月の 4.9 以来の水準となったほか、前月分も上方修正。しかしながら労働市場は依然として緩やかな拡大に留まっており、来週の利上げに結び付ける決定打には力不足。現在市場で取り沙汰されているのが、来週の FOMC でイエレン議長が「近々利上げの可能性」を会見で示し、利上げによる市場のインパクトを和らげ、10 月に発表される 9 月の雇用統計を確認して判断するといったシナリオ。

中国情勢が懸念材料との見方があるものの、米国経済の基調そのものはしっかりしており、外部環境に大きく振り回されることに過剰に反応する必要がないのでは、との見解にも耳を傾ける必要がありそう。ドル円は 120 円台を回復も、積極的な上値トライにやや躊躇しているものの、これまでの世界的な株価調整も、各企業の配当利回りから割安な銘柄が散見できるのも事実。底打ちからの大幅反発は期待できないものの、横這いから再度の上値トライに向けてエネルギーを蓄える充電期間を経て上昇に向けた準備期間に。米国の利上げは『景気が順調に回復している』裏返し、と過度な悲観論からそろそろ脱却する時期に近づいているのかもしれない。

---

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。